

<平成29年度 児童通所支援事業所さくらんぼ・すだち 児童発達支援 自己評価 結果>

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	回答
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11		・定員5名に対し、3ヶ所の部屋と3ヶ所の個室があり、個別での対応が可能である。	
	②	職員の配置数は適切であるか	10	1	・人員配置上適切であり、手厚い支援を行うことができている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11		・絵カードなど視覚支援を取り入れ職員間での対応を統一している。 ・遊びの部屋、勉強の部屋と活動によってスペースが分かれている。 ・バリアフリー化や個室の設置など、障害特性に合った環境を整えている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供達の活動に合わせた空間となっているか	10	1	・児童が触れる場所は常に消毒して清潔に保つようになっている。 ・朝の掃除や換気を行っている。 ・学習室や遊ぶ空間のパーテーション、クールダウンのための個室など子供達に合わせた空間となっている。	・業務内での清掃は時間の確保が大変かと思いますが、時間の検討や清掃用具など便利な用具があれば購入して、負担が減らせればと思います。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参加しているか	9	2	・スタッフミーティングで業務改善に努めている。 ・業務について意見を出し合える時間を増やすため、支援や活動内容について話し合う時間（朝礼終礼時等で）作っていく。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	1	・保護者向けのアンケートを実施し、その評価や意見等を把握し、業務改善につなげている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	2	・ホームページに専用ページを設け、公表していく。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	2	・ISOを実施し、評価を得た上で業務改善を行っている。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11		・外部の研修や施設内での勉強会に定期的に参加する機会を確保して知識の向上を図っている。	・研修は参加するだけではありません。学んできたことが活かしているか、参加させた側として検証、評価していますので、学んできたスキルを是非出して、取り組みをどんどん見せてください。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	11			
	⑪	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	2	・絵カードやスケジュールを使用している。 ・発達検査や言語訓練等の結果、報告書からアセスメントを実施している。	・今後、アセスメントツールが導入できればと考えています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	10	1		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	1	・支援計画に沿った支援を行い、記録し、次の支援につなげている。	・計画が支援の柱とはなりますが、それ以外での支援や関わりに気付いたら、是非計画に取り入れてください。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	1	・児童に合った活動や内容を検討し伝えている。 ・毎月担当を決め、季節に合った行事を取り入れている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	1	・毎月製作活動や行事等を入れ、固定化しないように活動している。	
	⑯	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	9	2	・集団活動はどうしても全員で行うことが難しく、工夫、改善が必要であるので、何ができるのかを検討し、実践していく。	

	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11		<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りノートを活用し、支援や業務の動きについて確認し、周知できるようにしている。 ・朝礼でその日の申し送りをを行い、活動や予定について確認をしている。 		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	1	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の児童で気になったことや特変、支援内容について話し、申し送りノートに必ず記載している。 		
	19	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の様子はケース記録として一人ひとり記録している。また、療育に関しては、振り返り、次のステップの手がかりとしている。 		
	20	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	11		<ul style="list-style-type: none"> ・3～6ヶ月、1年でモニタリングを実施している。また、必要があればその都度実施している。 		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者が参加。現場の様子は職員から事前に情報を集め、報告している。今後は、担当者も参加していく。 		
	22	母子保健や子供・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10	1	<ul style="list-style-type: none"> ・現場職員と他事業所や相談支援との関わりがまだ少ないので、研修参加等で職員の経験値とスキルの向上を図っていく。 		
	23	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	9	2			
	24	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供等を支援している場合) 子供の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	9	2	<ul style="list-style-type: none"> ・病院系列の事業所のため、いつ何が起きてもすぐに連絡が取れる体制が整っている。 		
	25	移行支援として、保育所や幼稚園、認定こども園、特別支援学校(幼稚部)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議や情報共有会議に参加し、情報・支援の共有を図っている。 		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有の場が少ないため、機会が増えるよう、積極的な訪問活動等に力を入れていく。 ・就学のための用紙作成を依頼されることがあり、協力している。 		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	1	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所での見学、研修を通じて連携を図っている。 		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	11		<ul style="list-style-type: none"> ・隣接しているこども学園の子供達と行事等に参加し、一緒に活動している。 		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子供・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8	3	<ul style="list-style-type: none"> ・議題や協議内容に合った職員を出席させている。 		
	30	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時にその日の状態や体調を聞いている。 ・連絡帳や迎え時の申し送り、面談を通して共通理解を深めている。 		
保護	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	6	5	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談や悩みがあった際は、気持ちに寄り添いながら援助等についてアドバイス等を行っている。 		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	1	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に、契約書等を示しながら説明し、同意をいただいている。 		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10	1	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス等利用計画書に基づき個別支援計画書を作成、同意を得ている。 		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じていつでも相談に応じる体制をとっている。 		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流会を開催し、保護者同士が関われる機会を作っている。 		

護者への説明責任等	36	子供や保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11		<ul style="list-style-type: none"> 子供や保護者から相談や申し入れがあった場合、職員全員に申し送り、相談・検討し対応している。 	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	11		<ul style="list-style-type: none"> 行事等を実施する際には、事前に保護者にお知らせの文章を配布し、周知している。 毎月広報誌を作成、毎週水曜にはホームページに普段の様子等を公開している。 	
	38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	11		<ul style="list-style-type: none"> 名前が記入しているプリント等はシュレッダーにかけたり、カルテを鍵付の棚に保管している。 個人のカルテは鍵のかかる棚に保管している。また、配布物も間違えないよう保護者の前で名前を確認し、手渡ししている。 	
	39	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11		<ul style="list-style-type: none"> 絵カードの使用など障がい特性に合った個々の配慮を行っている。 	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10	1	<ul style="list-style-type: none"> 市民公開講座や秋まつり、介護フェスティバル、オレンジカフェなどを開催している。 	
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	11		<ul style="list-style-type: none"> 感染に関して、保護者にお便りを配布したり、ポスター掲示で呼びかけている。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	1	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練、通報機器訓練を施設全体で実施している。 	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子供の状況を確認しているか	11		<ul style="list-style-type: none"> 服薬情報の提出をお願いしている。 	
44		食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	1	<ul style="list-style-type: none"> おやつ提供の棚にアレルギーの一覧表を掲示している。 	
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11		<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハット報告書を提出し、職員全員で共有し、再発防止に努めている。 	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11		<ul style="list-style-type: none"> ポスターの掲示、勉強会を開催し、虐待防止に努めている。 	
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	11		<ul style="list-style-type: none"> 以前に保護者への身体拘束について説明をしたが、安全ベルトやカッピングテープについては「拘束」という認識がなく、「安全対策」としての位置づけになっている。支援学校でも身体拘束として同意書はいただけていないことから、権利擁護委員会で話し合ってもらい、「児童について身体拘束の同意はいただかない」とことになったため、該当児童なしとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援ガイドライン、放課後等デイガイドラインを踏まえ、児童の身体拘束の在り方について検討しています。